

第2回学校運営協議会報告（広尾中）

来年度の学校運営の基本的な方針となる、「重点教育目標」、「育成を目指す資質・能力」、「各教科等における指導の重点」が承認されました。

1 平成31年度の重点教育目標

広尾町の自然、文化、歴史等について関心を持ち、郷土を愛する人を育てる。【郷土愛】
(育成を目指す資質・能力)

1. 広尾町の歴史や自然について事実やデータを収集し、広尾町についての知識の幅を広げ、観察、実験、調査、まとめなどの技能を身に付ける。
2. 地域の人たちと関わりながら、広尾町の文化や芸術のよさを感じ取る活動や、生活の問題に取り組んだりするなどして、思考力・判断力、表現力を身に付ける。
3. 広尾町民としての自覚をもち、先人や高齢者に敬意をはらい、郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めようとする心を育てる。

2 各教科等における指導の重点

(1) 各教科等において次の知識及び技能を身に付ける。

- ◇ 伝統や文化への関心をもって、広尾町の歴史について調べたり、まとめたりするなどの技能を身に付ける。(社会)
- ◇ 広尾町に関係するデータを用いて標本調査の方法について理解する。(数学)
- ◇ 広尾町の身近な生物、地形、気象などの観察を通して、観察、実験などに関する技能を身に付ける。(理科)
- ◇ 郷土の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる多様性を理解する。(音楽)

(2) 各教科等において次の思考力、判断力、表現力等を身に付ける。

- ◇ 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討する。(国語)
- ◇ 学校所在地の特徴に着目して調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し表現する。(社会)
- ◇ 広尾町に関わるデータを用いて分布の傾向を読み取り、判断したり考察したりする力を養う。(数学)
- ◇ 生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、広尾町の身近な生活の問題を見いだし解決する力を養う。(技術・家庭)
- ◇ 地域の行事などを話題にして英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を活用して話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現する。(外国語)
- ◇ 広尾町や地域の課題を見いだし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できる力を養う。(特別活動)

(3) 各教科等において次のような意欲や態度、人間性を醸成する。

- ◇ 地域にある文化遺産のよさや美しさを感じ取る。(美術)
- ◇ 互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。(総合的な学習の時間)
- ◇ 郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めようとする態度を養う。(道徳)

教育環境分析

平成31年度重点教育目標

広尾町の自然、文化、歴史等について関心を持ち、郷土を愛する人を育てる

	学校	家庭・地域
プラス要因	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域学習（総合的な学習の時間） ② 異年齢交流（小中、中高）の機会 ③ 職業体験 ④ 町内清掃 ⑤ 挨拶運動 <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（教育環境分析に当たって）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 重点教育目標を実現する上での要因を挙げました。 2. 学校の要因は主に校長、学校CS担当から、家庭・地域は主に他の委員から挙げていただきました。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ① 昔の写真をもっている家庭 ② 昔のことを知っている高齢者 ③ フンベの滝の不思議 ④ 立岩（戦争時の役割） ⑤ 陣屋 ⑥ 十勝神社 ⑦ 二見岩 ⑧ 重要港湾・十勝港 ⑨ 大丸山森林公園 ⑩ サンタランド ⑪ 地域内の挨拶運動の取組 ⑫ 漁業体験が可能（地曳網） ⑬ 漁業加工品 ⑭ 1次産業（漁業、農業、林業） ⑮ 博物館、そこから海が見える ⑯ 農協に保存資料 ⑰ 広尾っ子応援団 ⑱ オオバナノエンレイソウの群生地
マイナス要因	<ul style="list-style-type: none"> ① 主体性に欠ける ② 情報収集に苦労している（例えば職場体験の受け入れ先） ③ 甲子園メモリアルが活かされていない 	<ul style="list-style-type: none"> ① 広尾町の始まり（150年前）の史料 ② 家庭内のコミュニケーションの不足 ③ 苦労する経験の不足 ④ 高齢化による生活の手伝いのニーズが増大（ゴミ出し、除雪） ⑤ 地域ボランティアが不足 ⑥ 外部講師の確保が困難 ⑦ 海、山、川に囲まれた雄大な自然を活かしていない ⑧ サンタランドが活かされていない ⑨ 広尾町に温泉が無い ⑩ 昔を知る人が少なくなった

上記の要因を踏まえて、「地域・家庭の取組」として交流されているアイデアは次のとおりです。引き続き検討を続け、8月の協議会において現実的な取組を決定します。

1. 町内イベントへの参加
2. 町内一斉大清掃
3. 子どもたちを見守るパトロール隊の育成（子どもを不審者から守る）
4. 商工会との連携（職場体験）
5. 釣りに行く
6. 知らないところへの親子での視察（食事付き）
7. 町内誰でも挨拶運動
8. 子どもを見守る地域応援団・ボランティア活動の育成

